

平成25年行政事業レビューシート

(文部科学省)

<b>事業名</b>	日本・国際連合大学共同研究事業拠出金		<b>担当部局庁</b>	大臣官房国際課		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成7年度・未定		<b>担当課室</b>	国際課		国際課長 永山 賀久		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>政策・施策名</b>	豊かな国際社会の構築に資する国際交流・協力の推進 XIV-2 国際協力の推進				
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	-		<b>関係する計画、通知等</b>	-				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	国際連合大学本部は、国際連合のシンクタンクとして、人類の存続・発展等にかかる世界的な問題についての研究、研修及び知識の普及を行っており、日本は国際連合大学のホスト国として、国際連合大学と我が国の大学、学界等の学術協力を推進する。							
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	グローバルな変化とサステナビリティ、国際協力と開発、平和構築と安全保障といった世界的な問題に関する研究・人材育成事業・知識普及事業等を実施するための経費。 (国際連合大学に対する拠出。)							
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input checked="" type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>	予算状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
		当初予算	170	163	160	165		
		補正予算	0	0	0	0		
		繰越し等	0	0	0	0		
	計	170	163	160	165	169		
	執行額	170	163	160				
執行率(%)	100.0%	100.0%	100.0%					
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値(25年度)	
	【定量的成果指標】設定は困難 国連大学は、日本及び他国からの拠出金を取りまとめた、人類の存続・発展等にかかる世界的な問題についての研究、研修及び知識の普及を行っており、日本の拠出金による定量的な成果指標を設定することは困難。  【定性的成果指標】 世界的課題の解決のためのシンクタンクとして、教育、研究・学術活動、知識の共有と移転に関する活動を行っていること。		成果実績	-	大学院プログラム、研究プロジェクトを実施。また、グローバルセミナー東北「震災復興と生態適応～国連生物多様性の10年とRIO+20に向けて～」等の実施により、世界的な問題についての研究成果を普及。	大学院プログラム並びに研究プロジェクト及びその成果の普及事業等を実施。グローバルセミナー「地球社会は多様な人道危機にどう取り組むか」等の実施により、世界的な問題についての研究成果を普及。	大学院プログラム、研究プロジェクト、研究成果の普及のためのシンポジウム等を実施。	
	達成度	%	-	-	-			
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	【定量的活動指標】設定は困難 国連大学事業への拠出金であるため、活動指標を定量的な数値で示すことになじまない。  【定性的活動指標】 世界的な問題についての研究、研修及び知識の普及を行う活動が行っていること。また、そのための人材育成を行っていること。		活動実績 (当初見込み)	(-)	国連大学大学院プログラム、グローバル・セミナーなどの人材育成事業を実施  (国連大学大学院プログラム、グローバル・セミナーなどの人材育成事業を実施)	国連大学大学院プログラム、グローバル・セミナーなどの人材育成事業を実施  (国連大学大学院プログラム、グローバル・セミナーなどの人材育成事業を実施)	(国連大学大学院プログラム、グローバル・セミナーなどの人材育成事業を実施)	
<b>単位当たりコスト</b>	-		算出根拠	国際連合大学への拠出金であり、日本及び他国、機関等からの拠出金を取りまとめた研究、研修及び知識の普及を行っているため、本拠出金のみに対する単位あたりコストを算出することはできない。				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	政府開発援助ユネスコ事業等拠出金	165百万円	169百万円					
	計	165百万円	169百万円					

事業所管部局による点検						
		項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際連合大学はサステナビリティ、国際協力、平和などの世界的な問題に関する研究、教育を行っており、グローバル化した現代社会において、このような研究・人材育成事業、知識普及事業を行うことは我が国国民にとっても重要である。</li> <li>・国連機関である国際連合大学本部のホスト国として拠出を行うことは重要。</li> </ul>		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国連機関である国際連合大学本部のホスト国として、国際連合大学に拠出するものであり、支出先は限定されている。</li> <li>・拠出金の支出額および使途については、国際連合大学から提出される事業計画書及び報告書において精査しており、適切なものとなっている。</li> </ul>		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		-			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-				
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国連機関である国際連合大学が行うことにより、国際的ネットワークや蓄積された知見に基づく研究・人材育成事業が可能となり、実効性が高い。</li> <li>・世界的課題の解決のためのシンクタンクとして、教育、研究・学術活動、知識の共有と移転に関する活動が活動見込みに見合った形で着実に進められている。</li> <li>・HPの活用、セミナーやシンポジウムの開催等の情報発信を通じ、研究者・学生を含めた広く一般にも研究成果の活用を図っている。</li> </ul>		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	国際連合大学への拠出金については、毎年、国際連合大学から提出される事業計画書及び報告書において使途を把握し、拠出金の使用状況や事業目的との整合性について確認を行っている。引き続き、効率的、効果的な執行を国際連合大学に要請する。					
外部有識者の所見						
外部有識者による点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業内容の改善	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 事業評価の観点：本事業は、世界的な問題に関する研究・人材育成事業、知識普及事業等を実施するために、国際連合大学へ拠出するものであり、予算執行状況及び長期継続事業の観点から検証を行った。</li> <li>2. 所見：本事業は、概ね計画通りに予算執行されたものと考えられるが、更なる事業の効率化を目指し、積算単価を再検証するなど、引き続きコスト削減に努めるべきである。</li> </ol>					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
縮減	拠出にあたっては、国連大学から提出される事業計画書及び報告書において使途及び適切な執行状況を確認している。平成26年度概算要求においては、事業内容の検証を行い、積算を再検証した結果、プログラム連絡調整費等を▲7百万円反映した。					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	0432	平成23年	0017	平成24年	0012

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

文部科学省  
160百万円

国際連合大学事業への拠出

【拠出金】

A.国際連合大学:  
160百万円

グローバルな変化とサステナビリティ、国際協力と開発、平和構築と安全保障等に関する研究・人材育成事業・知識普及事業等を実施するための経費を拠出

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

A.国際連合大学			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
拠出金	日本・国連大学共同研究事業の運営に必要な経費	160			
計		160	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

※ 拠出金

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国際連合大学	グローバルな変化とサステナビリティ、国際協力と開発、平和構築と安全保障等に関する研究・人材育成事業・知識普及事業等を実施するための経費を拠出	160	-	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					